

多様な担い手が持続的に農業を営む「ふくしま」の農村づくり

令和3年度も残りわずかとなり、新型コロナウイルスに翻弄される日々が続いていますが、皆様には益々ご清祥のことと拝察いたします。

東日本大震災から11年が経過し、避難指示の解除や特定復興再生拠点区域の整備が進み、帰還困難区域の一部において準備宿泊が開始されたほか、全国からの温かい御支援による地震・津波被災地の復旧の進捗など、本県の復興は着実に前進しています。

今回の復興レターでは、コロナ禍で往来の自粛等様々な制約がある中で、災害復旧や避難指示区域の営農再開のための基盤整備に尽力されている福耕支援隊の皆様のご活躍をお届けします。

来年度も引き続き、皆様のお力をお借りしながら、復興に向けて全力で取り組んでまいりますので、これまでの御支援に心から感謝申し上げますとともに、皆様の御健康と御活躍をお祈り申し上げます。



福島県農林水産部次長（農村整備担当）

渡部 幸英

福耕支援隊の皆さん 集合！！



福耕支援隊チームからのメッセージ



農村整備第一課



河野 智大(滋賀県)

農村整備第一課 技師

担当業務（地区）

復興基盤総合整備事業「太田地区」に関すること

派遣前までの福島印象

震災から10年が経過した今でも、原発事故の影響により復興が十分に進んでいないという印象を持っていました。

福島県に来て感じたこと

令和3年4月の着任以降福島の今を目の当たりにし、日常生活を送っている分には震災の影響を感じることはほとんどありませんでした。一方で、帰還困難区域やその周辺の様子を見るとまだまだ復興への道のりは長いということを痛感しました。

福島で生活をしてきた中で、福島には農産物や観光資源など魅力的なポイントがたくさんあることを再確認できたので、それらの強みを生かしてさらなる復興やその先に向けて前に進んでいってほしいです。

担当業務（地区）

復興基盤総合整備事業「深野北」・「深野南」・「鶴谷地区」に関すること

派遣前までの福島印象

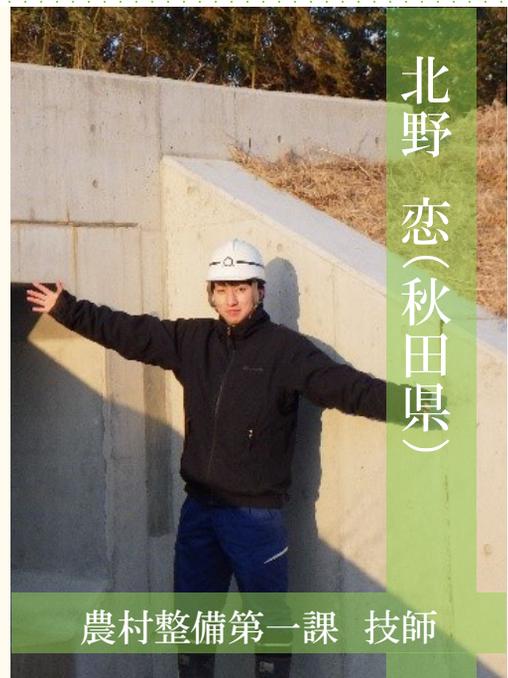
震災から10年が経過し、復興により人口が回復してきているという印象。

福島県に来て感じたこと

令和3年4月に相双農林事務所に着任しました。1年間を通して、様々な研修にも参加することができ、貴重な経験をさせていただきました。帰還困難区域はまだ手付かずの状態であり、まだまだ復興に時間が必要だと痛感しました。

業務では、常に自分の意見を持つことを徹底しました。事業に対する地域住民の熱意も感じられ、その方々の意見を尊重しながら、少しでも復興の力となれるよう日々の業務を遂行しました。その中で学んだことは数多く、今後の業務に生かしたいと思います。

コロナ禍での生活が続き、観光地になかなか行けなかったので、コロナが落ち着いたらまた訪れ、福島県の魅力を発信したいと思います。1年間ありがとうございました。



北野 恋(秋田県)

農村整備第一課 技師

福耕支援隊チームからのメッセージ



農村整備第三課



神保利幸（青森県）

農村整備第二課 主査

担当業務（地区）

復興基盤総合整備事業「八沢地区」に関すること

派遣前までの福島印象

東日本大震災における一番の被災地域

福島県に来て感じたこと

大震災から10年以上が経過。多くの災害では、公共事業の対策が進捗すると、人々の意識も変わる。10年一昔と言われ、出来ていた自己防衛を怠り、再び災害に見舞われる事がある。原因は、災害への意識が低くなったこと。相双地方から発信される情報は、震災に関連付けられことが多く、風化の防止に役立っている。一方で、忘れることで初めて、明るい未来を描けることもある。風評を変えて行くには、これもまた、必要なのだと思う。

担当業務（地区）

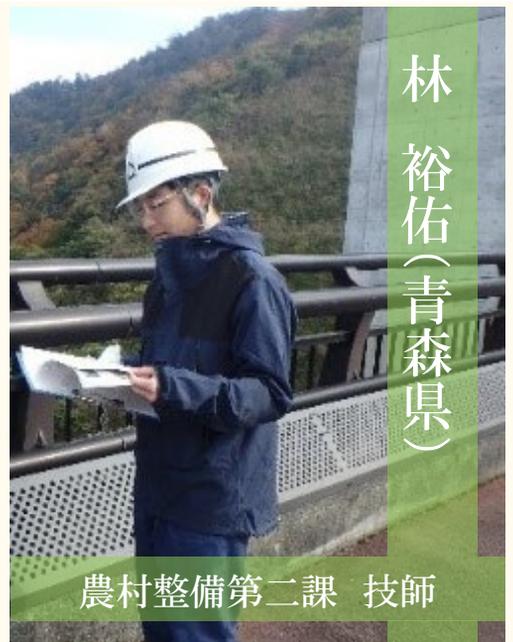
復興基盤総合整備事業「原町東地区」・「高平中部地区」に関すること

派遣前までの福島印象

鶴ヶ城、猪苗代湖、東日本大震災の被災地

福島県に来て感じたこと

震災から11年目になりました。着任してから2年間、復興事業に携わり、福島県の現状を見て、復興の進みの早さに驚くとともに、思うように進んでいない地域があることも知りました。業務では、経験したことのない規模の地区で経験のない事業や工事…とないことづくしで不安でしたが、プロパー職員の皆さんに助けていただいたことで遂行できました。今後は福島県の魅力を発信して復興の一助となれたらと思っています。



林裕佑（青森県）

農村整備第二課 技師

福耕支援隊チームからのメッセージ



農村整備第三課



松永 有加（静岡県）

農村整備第三課 技師

担当業務（地区）

復興基盤総合整備事業「飯舘西部地区」
水利施設等整備事業（基幹水利施設保全型）「横川地区」・
「高の倉地区」・「南幹線地区」

派遣前までの福島の印象

お米どころであり、日本酒が美味しいイメージがありました。

福島県に来て感じたこと

4月に赴任し、あっという間に1年が過ぎました。“復興”という言葉に、様々な思いがあり、様々な進み方があるという事を実感する1年となりました。

福島県は、美しい景色、美味しい農産物、新鮮な魚介類などに溢れており、四季折々の顔が楽しいとても魅力あふれる県でした。赴任期間が終了しても再訪し、福島県の魅力をさらに発見していきたいと思えます。



農地計画課

担当業務（地区）

市町村の災害復旧事業の審査・指導業務

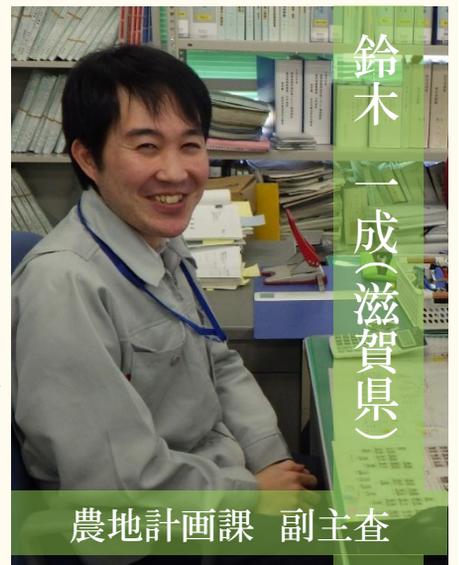
派遣前までの福島の印象

面積がとても大きい。猪苗代湖がある。

福島県に来て感じたこと

震災から時間が経過しましたが、地域によって復興の段階・状況は大きく異なっており、抱える課題もそれぞれであるということを実感しました。そのなかでも、それぞれの地域で、将来像を模索しながら、一歩ずつ復興に向けて進んでいるのを感じました。

福島県は各地の特徴がはっきりしていて、周っていて飽きることはありませんでした。巡った時期が偏ってしまったので、異なる季節の様子も見てみたいと思えました。



鈴木 一成（滋賀県）

農地計画課 副主査

これまでの福耕支援隊の支援体制(配置人数)

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称
農林水産省	8局	北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州、沖縄	8局	北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州、沖縄	7局	北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、沖縄	7局	北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、沖縄	7局	北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、沖縄
	27道府県	北海道、青森、栃木、群馬、新潟、静岡、富山、石川、福井、長野、山梨、岐阜、滋賀、愛知、京都、大阪、島根、岡山、広島、山口、愛媛、香川、福岡、長崎、大分、宮崎、沖縄	16道県	北海道、青森、秋田、栃木、群馬、埼玉、神奈川、新潟、山梨、長野、滋賀、山口、愛媛、福岡、大分、沖縄	12道県	北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、山梨、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	11道県	北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	11道県	北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄
	市町村		3市	新潟県新発田市 富山県富山市 富山県南砺市	6市	新潟県新発田市 富山県富山市 福井県大野市 新潟県小千谷市 富山県南砺市 長崎県諫早市	4市	新潟県新発田市 富山県富山市 福井県大野市 長崎県諫早市	4市	新潟県新発田市 福井県大野市 岡山県総社市 長崎県諫早市
派遣元	2事務所	県中農林事務所 相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所
	5市町	須賀川市、相馬市、南相馬市、広野町、新地町	7市町	須賀川市、相馬市、南相馬市、広野町、新地町、榑葉町、浪江町	7市町	須賀川市、相馬市、南相馬市、広野町、新地町、榑葉町、浪江町	6市町	相馬市、南相馬市、広野町、新地町、榑葉町、浪江町	6市町	相馬市、南相馬市、広野町、新地町、榑葉町、浪江町
人数	294名		353名		307名		258名		241名	

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称
農林水産省	8局	北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州、沖縄	7局	東北、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州	5局	東北、関東、東海、近畿、中国四国	2局	東北、中国四国	1局	東北	1局	東北
	11道県	北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	10道県	青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、神奈川、滋賀、愛媛、大分、沖縄	10県	青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、長野、静岡、滋賀、愛媛、沖縄	9県	青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、長野、静岡、滋賀、沖縄	7県	青森、秋田、埼玉、新潟、静岡、滋賀、沖縄	7県	青森、秋田、埼玉、新潟、静岡、滋賀、沖縄
	市町村	3市	福井県大野市 岡山県総社市 長崎県諫早市	2市	長崎県諫早市 鹿児島県日置市							
派遣元	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所
	7市町	相馬市、南相馬市、広野町、新地町、榑葉町、浪江町、川内村	5市町	相馬市、南相馬市、新地町、榑葉町、浪江町	5市町村	南相馬市、新地町、榑葉町、浪江町、飯館村	5市町村	南相馬市、富岡町、榑葉町、浪江町、飯館村	2町村	浪江町、飯館村	2町村	浪江町、飯館村
人数	196名		97名		65名		17名		13名		13名	

福島県 福耕支援隊

震災から11年が経過し、本県の復旧・復興は着実に進んできています。一方で、相双管内12市町村のうち7市町村において、未だ避難指示区域が全町及び一部市町村で残っていることから、営農再開ができない地域も多く、復興も半ばといった状況にあります。

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う工事工程の調整や職員の感染防止対策への取組みに加え、令和3年2月13日及び3月20日発生した大地震により、ため池、農業集落排水施設などが被災するとともに、加えて、現在実施中のほ場整備事業地区でもパイプラインの破裂や農道の亀裂などが多数発生し、災害査定を受検や水田への用水確保に向けた取組みに奔走した一年となりました。

こうした状況のなか、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を行いながら震災からの復旧・復興事業と併せ、通常の災害復旧事業にも対応し、農地汎用化のための地下かんがい方式（フォアス）の導入や先進技術を導入したスマート農業の推進を図りながら、更なる低コスト化、省力化による競争力強化に取組み、営農再開を加速させていく必要があると考えております。

さて、これまで、復旧を進めるに当たり、国並びに全国27道府県から、延べ1,854人の福耕支援隊の方々の応援をいただき、南相馬市小高区以北及び楡葉町以南の津波被災地において営農再開され、加えて大熊町や双葉町でも試験栽培が始まりました。

また、令和4年度からは、楡葉町における山田浜地区のほ場整備工事着手や川内村におけるほ場整備事業採択を予定しており、これらを皮切りに今後は原子力災害の影響が非常に大きかった周辺地域においても、営農再開から持続的農業経営に向けた取組みへ加速させていくこととしております。

津波被災農地の復旧や作付け制限解除農地の整備など、今も業務は多忙を極めますが、相双地方の農業再生は勿論のこと、競争力の高い農業経営が行われるよう職員が一丸となってほ場の整備や農業水利施設の復旧、整備等に邁進しているところです。

農業を取り巻く状況は一段と厳しさを増し、農業従事者の高齢化や担い手不足、耕作放棄、これまで地域農業を支えてきた集落機能の低下など問題は山積していますが、関係機関と連携を密にしながら、職員一丸となって相双地方の復興へ取組んで参りたいと思っております。

令和4年度は第二期復興・創生期間の2年目となりますが、新型コロナウイルスの猛威や大震災を乗り越え、相双地域が力強く復興した姿を1日でも早く発信できるよう、引き続き全国からの御支援を賜りますようお願い申し上げます。

相双農林事務所 農村整備部長 齋藤 剛

東北地方太平洋沖地震災害 災害復旧執行状況（相双農林事務所）R4.3時点

区分	最新事業計画		発注済み箇所・事業費			完了済み箇所・事業費			未着手箇所・事業費		
	箇所数	金額 (千円)	箇所数	進捗(%)	金額 (千円)	箇所数	進捗(%)	金額 (千円)	箇所数	金額 (千円)	
県営	海岸災害復旧事業	30	28,357	30	100%	28,357	30	100%	28,357	0	0
	農地(区画整理)	101	13,859	101	100%	13,859	92	91%	12,485	0	0
	農業用施設(区画整理)	31	509	31	100%	509	31	100%	509	0	0
	農業用施設	45	14,309	45	100%	14,309	45	100%	14,309	0	0
	県営災計	207	57,034	207	100%	57,034	198	96%	55,660	0	0
団 体 営	農地	170	10,865	162	95%	7,034	157	92%	5,397	8	3,831
	農業用施設	418	5,860	408	98%	5,072	399	95%	4,167	10	788
	団体営農地・施設	588	16,725	570	97%	12,106	556	95%	9,564	18	4,619
	農業集落排水施設	21	2,254	21	100%	2,254	20	95%	2,145	0	0
	除塩	61	136	61	100%	136	61	100%	136	0	0
	団体営災計	670	19,115	652	97%	14,496	637	95%	11,845	18	4,619
合計	877	76,149	859	98%	71,530	835	95%	67,505	18	4,619	

農業農村整備 復旧・復興のあゆみフォト



真野地区(南相馬市鹿島区)



右田・海老地区(南相馬市鹿島区)



原町東地区(南相馬市原町区)

農業農村整備 復旧・復興のあゆみフォト



太田地区(南相馬市原町区)



小高東部地区(南相馬市小高区)



広野地区(広野町)



沖縄県

花城

晶技師

農村整備第三課／福耕支援隊

瓦礫混入農地での区画整理
岡田地区の復旧・復興に向けて

沖縄県から派遣されました花城晶です。農地の区画整理工事は沖縄県でも経験してきましたが、水田の整備は初めてで相双農林事務所、市町村、土地改良区、地元の農家の方々に様々な場面で助けていただいて、どうにか業務に従事することができました。ありがとうございました。

私生活では、今年は新型コロナにより県外への外出が制限されている期間が多かったこともあり、逆に福島県内を見て回ることができました。特に沖縄では見られない桜が福島には多くあり、特に三春の滝桜を始めとする一本桜の迫力には圧倒され、とても感動しました。また、白河市の西の郷遊歩道や猪苗代湖など多くの自然があり満喫できました。

仕事では、南相馬市小高区にある岡田地区のは場整備に関する発注業務や関係機関との協議を行いました。岡田地区は地区の多くの範囲が津波の被害を受けており、住宅の柱やプラスチック材等の瓦礫が表土に混ざってしまっている状態でした。また、地盤が軟弱で対策に苦慮しましたが、どうにか春からは米の生産が再開できるところまで復旧することができました。整備が終われば元通りというわけではなく、また、営農の中で小さな瓦礫を拾ったり、放射線量が下がるまで何度も数年営農を繰り返さないと食べられる基準値内の作物にはならないと言われていますが、それでも地元の農家は米を作れるまで頑張ると言っていて凄い力強さを感じ、いつか私が関わった場所で作られた米を食べてみたいと思いました。時間は掛かるかもしれませんが頑張ってください。



測量作業を行う花城技師

静岡県

中村 慶太副主査

農村整備第二課／福耕支援隊

復興支援を通じて、過去・現在・未来に触れられたことは自身にとってかけがえのない経験



春、静岡県から福島県南相馬市にある相双農林事務所に派遣されました。福島県といえば「桃」しか頭に浮かばなかった私が目にしたのは、二本松市の「合戦場のしだれ桜」。青天に映える桃色と菜の花の黄色が色鮮やかでした。

夏、担当する八沢地区は、水稻の全面作付けを達成し、一面に新緑が広がりました。休日には、浜街道を北上し、相馬市の松川浦でカヤック。穏やかな水面は、底が見えるくらい澄んでいました。特産の「ほっき貝」は刺身で食べるのがお気に入りです。

秋、工事が本格始動する中、ほ場は黄金色に、阿武隈高地の木々は紅や橙に色づいていました。趣味のキャンプで訪れたのは、川内村の高塚高原。まさに隠れ家的な空間で、地ビール片手に、ふくしまの自然を一人占めました。

冬、玄関を開けると白雪が舞っていました。静岡県ではなかなか拝むことができない景色に心も躍りましたが、八沢で雪交じりの強烈な浜風を浴び、少し悲しくなりました。

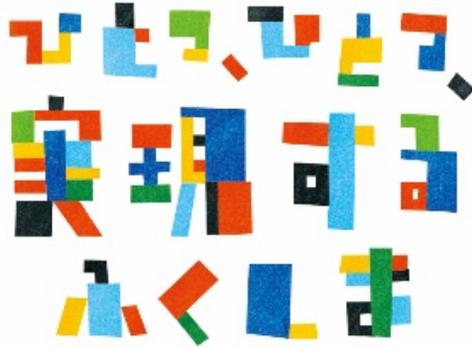
派遣期間中、復興していく町並みや「福島ロボットテストフィールド」、「福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）」といった光の部分、帰還困難区域のバリケードや「請戸小学校」といった影の部分を目の当たりにし、復興支援を通じて、過去・現在・未来に触れられたことは、自身にとってかけがえのない経験になりました。

また、支援で来た福島県ですが、多くの人に助けられた1年でもありました。八沢地区をチームで担当していたこともあります。何かと不慣れな私に対し、福島県職員や他県からの派遣職員の皆さんが公私ともに気にかけてくださり、不自由なく集中して業務に臨むことができました。様々な人と繋がりが持てたことは、きっと大きな宝物になると思います。静岡県にいても出来る復興支援を通じ、引き続き、ふくしまを推していきます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、身動きの取りづらい1年でしたが、語り尽くせないほどの「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」を彩る、多くの魅力に気付かされた1年でした。ありがとうございました。



農村整備第二課集合写真



震災から10年を機に、
福島県は、「ふくしまからはじめよう。」からの
バトンを渡す、新スローガンを策定しました。
「はじめる」から、「かなえる」へ。
ひとりひとりの力を重ね、それぞれの思いを繋ぎ、
ともに、ひとつずつ、しっかりと、
カタチにし続けていこうと。

全国農村振興技術連盟会員の皆様や台湾農田水利会連合会からの義
援金をはじめ、多大なるご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

発行元：福島県農村振興技術連盟
(編集 福島県農村計画課)
電話：024-521-7406
FAX：024-521-7545